

＝ 「パラメッセージフェス 2022」参加を踏まえ次のアビリンピックに向けて ＝

12月3日（土）に天神山文化プラザで開催された【PARA MESSAGE FES2022 ～「永遠の約束」】に参加させていただきました。

このイベントは『アビリンピック岡山2022』の協力企業としてアート展示及び体験コーナーを運営していただいた（株）ありがとうファームの方々による1年間の仕事の成果や成長などの発表を通じて同社の活動を支える方々への感謝を伝える場となっています。

アビリンピック岡山でもお世話になった、編み物、アートのメンバーによる発表をはじめ、アビリンピック岡山の表計算競技において、初出場で金賞を獲得し全国大会に出場した中村選手によるアビリンピックの経験も交えたプレゼンテーションを拝見しました。



アビリンピック岡山での体験コーナーのプログラム



堂々とプレゼンを行う中村選手 タイトル「岡山県代表を背負った男」

ありがとうファームが独自で開催した喫茶サービス競技の予選会“ヨビリンピック”、アビリンピック岡山、全国アビリンピックにおける勇姿が動画で流れる中、惜しくも入賞を逃し

た中村選手は「挫折を経験しないように逃げるのではなく、挫折した時に、それをどう乗り越えるのか。失敗を認め、振り返り、次への挑戦への気持ちに変える。」と話をされており、感銘を受けました。僭越ながら次回の大会では、更なる飛躍を期待しております。

我々と同社とのつながりは、今年の1月。アビリンピック周知協力のため、今年6月に急逝された創業者である木庭寛樹会長とお会いしたのが始まりです。アビリンピックを含め当機構の業務に強い関心を持っていただいたこと。そして、『アビリンピックの最終的な目標は何なのか。』について厳しくも温かいご意見を頂戴し、その後多くの協力をいただくことが出来ました。自分が幸せだったかではなく、ひとを幸せにしたかどうかを理念とされた木庭会長。会長と意見を交わしたことを忘れずに大会運営に取り組んでいきたいと考えます。

アビリンピックは技能を競うだけではなく、競技を通じ、障害者の雇用を促進することを目標とした大会です。ぜひ、選手が真剣に取り組む姿とその技能を直に感じるためにアビリンピック岡山へご来場ください！

岡山支部 高齢・障害者業務課



『仕事とは』をテーマに



同時開催『ありがとうファームのキセキ展』①



同時開催『ありがとうファームのキセキ展』②



同時開催『ありがとうファームのキセキ展』③